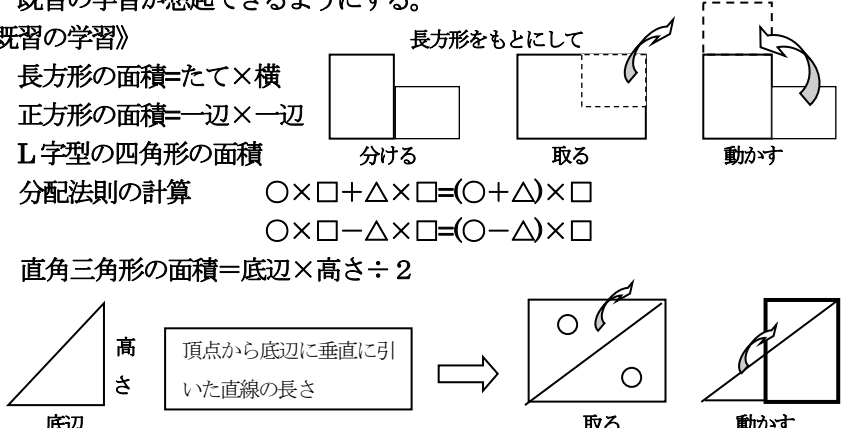
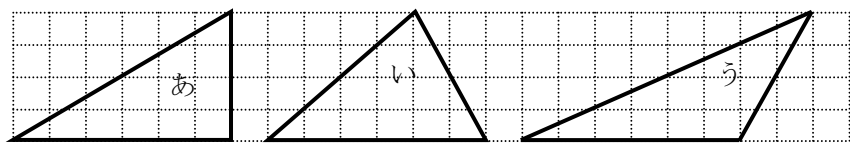
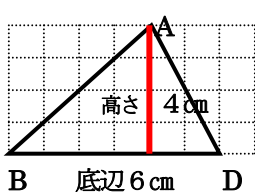
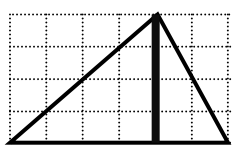
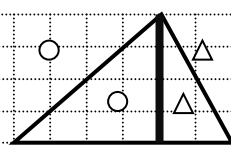
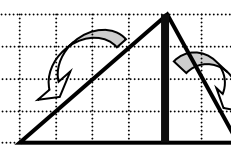


目 標	○ 底辺に高さが交わる三角形の場合で三角形の面積を求める公式を考えて、説明することができる。	
学 習 活 動	指 導 上 の 支 援 と 工 夫	準 備 物
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 既習の学習が想起できるようにする。</p> <p>《既習の学習》</p> <p>長方形の面積=たて×横 正方形の面積=一辺×一辺 L字型の四角形の面積 分配法則の計算 $\bigcirc \times \square + \triangle \times \square = (\bigcirc + \triangle) \times \square$ $\bigcirc \times \square - \triangle \times \square = (\bigcirc - \triangle) \times \square$ 直角三角形の面積=底辺×高さ÷2</p>  <p>《本時の問題》</p> <p>○ 下図の三角形を示し、第1時の計画を振り返って次のように問題を知らせる。</p>  <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">①の三角形の面積を求めよう</p> <p>○ 既習の学習と本時の問題との違いを話し合うことで、本時の三角形の面積も公式をつくる必要があることに気付き、本時のめあてがつかめるようにする。</p>	<p>問題文</p> <p>既習事項の 掲示物</p>
<p>めあて ①のような三角形の場合で三角形の面積を求める公式を考えて、説明しよう。</p>		
<p>2 問題を解き 近くに友達と話し合う。 ・解決の見通しをもつ。</p> <p>・自力解決</p>	<p>○ ①の三角形の「底辺」と「高さ」について話し合う。</p>  <p>辺BCを底辺とすると、頂点Aから底辺BCに垂直に引いた直線の長さを高さとすることから、①の場合の高さが(AD)であることが理解できるようにする。底辺6cm 高さ4cmを記入する。</p> <p>○ 長方形や直角三角形をもとにして、①のような三角形でも、図形を「分ける」「とる」「動かす」ことにより公式が考えられないかと問いかけることにより、見通しがもてるようにする。</p> <p><予想される児童の考え></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(ア)</p>  <p>分ける</p> $4 \times 4 \div 2 + 2 \times 4 \div 2 = 12$ <p><u>A. 12 cm²</u></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(イ)</p>  <p>取る</p> $4 \times 6 \div 2 = 12$ <p><u>A. 12 cm²</u></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(ウ)</p>  <p>動かす</p> $(4 \div 2) \times 6 = 12$ <p><u>A. 12 cm²</u></p> </div> </div>	<p>図形(個人用)</p> <p>発表用紙 (図形入り) マジック</p>

<p>・ペアトーク</p> <p>3 考えを発表し、学級全体で話し合う。</p> <p>4 練習問題を解く。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>○ 机間指導を行いながら、図や式で自分の考えを表現できている児童を称揚する。</p> <p>○ 自力解決が難しい児童には長方形や直角三角形を見つけやすいように、ヒントカードとして(ア)の分ける補助線入りの図や(イ)の長方形を強調した図を渡す。</p> <p>○ できている児童には他の解く方法はないか、考えるように促す。</p> <p>○ 自分の考えが持てたペアから説明したり友達の説明に質問したりすることで、自分の考えを明確にしていき、全体での話し合いに自信をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>○ それぞれの式を直角三角形の面積の求め方の式 $6 \times 4 \div 2$ と同じになるように、次のように話し合って練りあげていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・式を変換すると、どの考えも $6 \times 4 \div 2$ の式になることに気付く。</p> <p>(ア) $4 \times 4 \div 2 + 2 \times 4 \div 2$ \rightarrow 分配法則により $(4+2) \times 4 \div 2 = 6 \times 4 \div 2$</p> <p>(イ) $4 \times 6 \div 2 = 12 \rightarrow 6 \times 4 \div 2 = 12$</p> <p>(ウ) $(4 \div 2) \times 6 = 12 \rightarrow 6 \times (4 \div 2) = 6 \times 4 \div 2 = 12$</p> <p>・並べ替えた数の式から、㊦のような三角形の面積を求める言葉の式を「底辺×高さ÷2」とする。</p> </div> <p>○ 練習問題を解くことで、学習問題の定着を図る。</p> <p>○ 本時の学習を振り返り、めあてに沿って次のようにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 三角形の面積を求める公式は、㊦のような三角形の場合でも「底辺×高さ÷2」になる。</p> </div> <p>○ 友達と話し合っただけ嬉しかったことを発表することで、話し合い学び合う意欲が高められるようにする。</p> <p>○ 望ましい聞き方や説明の仕方についても称揚する。</p>	<p>ヒントカード</p>
<p>評価</p>	<p>底辺に高さが交わる三角形の場合で三角形の面積を求める公式を考えて、説明することができる。(考)〈ノート、発表〉</p>	

めあて

三角形の場合で
三角形の面積を求める公式を考えて，説明しよう。

問題 ㉞の三角形の面積を求めよう

めあて

三角形の場合で
三角形の面積を求める公式を考えて，説明しよう。

問題 ㉟の三角形の面積を求めよう

めあて

三角形の場合で
三角形の面積を求める公式を考えて，説明しよう。

問題 ㊱の三角形の面積を求めよう